

令和3年度 第6学年 授業改善推進プラン

	授業改善のねらい	具体的な授業改善策	評価 (○成果 ▲課題)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や意図に応じて、伝えたいことを的確に話す力を身に付けさせる。 ○ 文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えることができるようにする。 ○ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成を工夫することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な場面で考えを述べる場を設定する。また、話の中心を明確にし、それを意識して話の構成を組み立てるように指導する。 ・ 文章の構成に気を付けて読むように指導する。また、筆者の主張をまとめるなどの課題を取り入れ、要旨に着目できるようにする。 ・ 事前に全体の構成を考え、目的や意図に応じて、話の中心を効果的に読み手に伝える工夫をするように指導する。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史人物や用語の暗記だけではなく、歴史の大きな流れを捉え、時代同士のつながりを理解できるようにする。 ○ 資料を活用しながら、自ら学んでいこうとする態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートに歴史事象等の板書を写すだけではなく、その時間に学習した知識を基に、社会的な考察を自分の言葉で表現させる。 ・ インターネットや視聴覚教材を使った資料集めや効果的な資料提示を行う。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題を多様な考え方で解決し、その方法を表したり、説明したりすることができるようにする。 ○ 基本的な計算や既習しているきまりの定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が自分の考えを発表する場を設定することで、他者の意見にも触れさせ、自分の考えと比べることができる授業を実施する。 ・ 復習問題に取り組みせたり、授業の中で既習事項に触れたりしながら、徐々に定着を図る。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事実をもとに、自然事象の仕組みについてより妥当な考えを導くことができるようにする。 ○ 観察・実験の技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事実と自分の考えを分けて考えることを指導し、学習問題に基づいて考察することを徹底する。また、単元の中で、生活経験や既習事項にふれ、児童が様々な視点をもって考えられるような場を設定する。 ・ 実際に実験器具に触れたり、観察を行ったりする時間をしっかりと取り、技術の定着を目指す。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と学び合う授業の中から、自身の技能の高まりを実感させる。 ○ 児童間で技量の差があり、領域によっては苦手と感じる児童が多いものがある。その偏りを解消させるための取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の解決に向けて、友達同士での対話を通して、自己の思考を広げたり深めたりするなどの活動を取り入れる。 ・ 体づくり運動の一環として、児童が苦手と感じる領域の動きを取り入れ、繰り返す行う。 ・ 技能面のポイントを明確に示す。 	